

# 四半期報告書

(第106期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

**三櫻工業株式会社**

東京都渋谷区恵比寿一丁目23番23号

# 目 次

	頁
表 紙	
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
2 その他	14
第二部 提出会社の保証会社等の情報	15

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第106期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	三櫻工業株式会社
【英訳名】	Sanoh Industrial Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 篠原 利幸
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目23番23号
【電話番号】	03（5793）8411（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 秋山 正貴
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目23番23号
【電話番号】	03（5793）8411（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 秋山 正貴
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第105期 第1四半期連結 累計期間	第106期 第1四半期連結 累計期間	第105期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（百万円）	22,264	24,298	92,044
経常利益（百万円）	1,174	1,794	3,339
四半期（当期）純利益	619	889	1,629
四半期包括利益 又は包括利益（百万円）	973	2,551	4,150
純資産額（百万円）	35,734	40,608	38,512
総資産額（百万円）	73,031	79,594	74,873
1株当たり四半期（当期）純利益金額 （円）	17.00	24.41	44.76
潜在株式調整後1株当たり四半期（当 期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	46.7	48.0	48.6
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△754	1,492	947
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,162	△1,790	△6,568
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	500	△437	1,633
現金及び現金同等物の四半期末（期 末）残高（百万円）	9,952	7,173	7,710

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、米国では、緩やかな景気回復の傾向が続きましたものの、欧州では債務問題による停滞感が継続しております。アジアでは中国の経済成長率の低下が懸念され、先行きへの不透明感が続いております。日本では、現政権・日銀の経済政策により株式市場の回復等がみられ、景気持ち直しの期待が高まりました。

自動車業界におきましては、日本では国内市場の伸び悩みおよび輸出の減少により自動車の生産・販売は前年同期を下回りましたが、北米・中南米、アジアでは伸展が見られました。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品は、取引先自動車メーカーにおける自動車生産の増加傾向が続いたことにより、前年同期と比べて生産が増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は242億98百万円（前年同期比9.1%増）となりました。営業利益

は12億66百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は17億94百万円（前年同期比52.8%増）、四半期純利益は8億89百万円（前年同期比43.6%増）と増収増益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレージング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、および樹脂製品（クイックコネクタ、樹脂チューブ製品等）のいずれの製品も、前期と比べて売上が増加いたしました。また、車輛安全製品（シートベルト用）は売上が減少いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

国内自動車生産台数の減少による販売減少により、売上高は97億27百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は8億71百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

#### ②北南米

自動車生産台数の伸張および新規受注製品の増加に伴い、売上高は79億13百万円（前年同期比23.0%増）となりましたが、新規受注製品の立ち上げに関連する費用等が増加したため、営業利益は1億30百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

#### ③中国

取引先自動車メーカーの生産調整による影響を受けたものの、売上高は16億39百万円（前年同期比7.9%増）となりました。しかしながら、新規製造拠点の立ち上がり費用を計上したこと等により1億11百万円の営業損失（前年同期は72百万円の営業損失）となりました。

#### ④アジア

東南アジアにおける自動車市場が伸長したことにより、売上高は38億68百万円（前年同期比63.1%増）、営業利益は4億74百万円（前年同期比207.8%増）と大幅な増収増益となりました。

#### ⑤欧州

英国等の取引先自動車メーカーからの受注の増加により、売上高は11億50百万円（前年同期比19.0%増）となりました。また、営業利益は、業務の効率化による費用削減の効果により改善し、16百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により14億92百万円増加、投資活動により17億90百万円減少、財務活動により4億37百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には71億73百万円（前連結会計年度末比5億37百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が17億42百万円、減価償却費が10億71百万円、売上債権の増加による資金減が9億15百万円、仕入債務の減少による資金減が4億6百万円、法人税等の支払いによる資金減が10億6百万円あったことなどにより、14億92百万円（前年同四半期比22億46百万円の資金の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が16億65百万円あったことなどにより、17億90百万円（前年同四半期比6億27百万円の資金の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動に使用された資金は、短期借入の増加による収入1億76百万円、長期借入金の返済による支出1億91百万円、配当金の支払による減少3億82百万円などにより、4億37百万円（前年同四半期比9億37百万円の資金の減少）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5億70百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	144,848,000
計	144,848,000

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	37,112,000	37,112,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	37,112,000	37,112,000	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	37,112,000	—	3,481	—	2,969

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 715,900	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 36,375,200	363,752	—
単元未満株式	普通株式 20,900	—	—
発行済株式総数	37,112,000	—	—
総株主の議決権	—	363,752	—

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
三櫻工業株式会社	東京都渋谷区恵比寿一丁目23番23号	715,900	—	715,900	1.92
計	—	715,900	—	715,900	1.92

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,842	7,304
受取手形及び売掛金	※2 13,601	※2 15,272
商品及び製品	3,412	3,588
仕掛品	3,072	3,554
原材料及び貯蔵品	7,097	7,218
繰延税金資産	758	940
その他	1,681	1,967
流動資産合計	37,462	39,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,423	14,974
機械装置及び運搬具	44,874	47,931
工具、器具及び備品	8,463	8,393
土地	3,844	3,883
リース資産	202	202
建設仮勘定	1,975	2,213
減価償却累計額	△46,876	△48,883
減損損失累計額	△500	△522
有形固定資産合計	26,405	28,191
無形固定資産		
リース資産	75	64
その他	674	646
無形固定資産合計	749	710
投資その他の資産		
投資有価証券	6,087	6,603
長期貸付金	1	3
繰延税金資産	3,606	3,533
その他	563	710
投資その他の資産合計	10,257	10,849
固定資産合計	37,411	39,750
資産合計	74,873	79,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,068	10,114
短期借入金	8,563	10,104
未払金	1,139	1,819
リース債務	71	65
未払法人税等	1,251	1,156
未払消費税等	215	292
賞与引当金	833	1,460
役員賞与引当金	28	61
製品保証引当金	143	137
その他	1,289	1,555
流動負債合計	23,600	26,762
固定負債		
長期借入金	2,027	1,284
リース債務	91	76
退職給付引当金	10,384	10,624
役員退職慰労引当金	174	174
繰延税金負債	85	65
固定負債合計	12,761	12,224
負債合計	36,361	38,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,556	31,062
自己株式	△477	△477
株主資本合計	36,558	37,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,245	2,576
為替換算調整勘定	△2,428	△1,427
その他の包括利益累計額合計	△183	1,149
少数株主持分	2,137	2,394
純資産合計	38,512	40,608
負債純資産合計	74,873	79,594

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	22,264	24,298
売上原価	18,694	20,220
売上総利益	3,570	4,078
販売費及び一般管理費	2,402	2,812
営業利益	1,168	1,266
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	29	37
為替差益	41	576
その他	20	19
営業外収益合計	94	640
営業外費用		
支払利息	68	91
その他	20	22
営業外費用合計	88	113
経常利益	1,174	1,794
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	1	53
特別損失合計	1	53
税金等調整前四半期純利益	1,174	1,742
法人税、住民税及び事業税	728	927
法人税等調整額	△193	△230
法人税等合計	536	697
少数株主損益調整前四半期純利益	638	1,045
少数株主利益	19	156
四半期純利益	619	889

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	638	1,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△401	331
繰延ヘッジ損益	39	—
為替換算調整勘定	697	1,175
その他の包括利益合計	335	1,506
四半期包括利益	973	2,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897	2,221
少数株主に係る四半期包括利益	76	329

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,174	1,742
減価償却費	1,023	1,071
のれん償却額	—	11
有形固定資産除却損	1	53
受取利息及び受取配当金	△34	△45
支払利息	68	91
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,008	△915
たな卸資産の増減額(△は増加)	△616	118
仕入債務の増減額(△は減少)	△119	△406
賞与引当金の増減額(△は減少)	620	627
退職給付引当金の増減額(△は減少)	120	240
その他	18	△52
小計	1,246	2,531
利息及び配当金の受取額	34	45
利息の支払額	△92	△79
法人税等の支払額	△1,283	△1,006
過年度法人税等の支払額	△659	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△754	1,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,222	△1,665
有形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	63	△122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,162	△1,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△215	176
長期借入れによる収入	1,233	—
長期借入金の返済による支出	△154	△191
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△346	△382
少数株主への配当金の支払額	△18	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	500	△437
現金及び現金同等物に係る換算差額	191	198
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,225	△537
現金及び現金同等物の期首残高	11,178	7,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 9,952	※1 7,173

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 1. 保証債務

従業員及び取引先の銀行からの借入金に対して行っている債務保証は、下記の通りであります。

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)		当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
従業員	2百万円	従業員	2百万円
計	2	計	2

※ 2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
受取手形	22百万円	16百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)
現金及び預金勘定	10,084百万円	7,304百万円
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	△131	△131
現金及び現金同等物	9,952	7,173

(株主資本等関係)

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当金 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 5月17日 取締役会	普通株式	346	9.5	平成24年 3月31日	平成24年 6月4日	利益剰余金

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当金 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年 5月14日 取締役会	普通株式	382	10.5	平成25年 3月31日	平成25年 6月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	10,974	6,433	966	1,519	2,372	22,264	—	22,264
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	4,029	28	—	222	23	4,302	△4,302	—
計	15,003	6,461	966	1,741	2,395	26,566	△4,302	22,264
セグメント利益 又は損失(△)	996	178	△15	△72	154	1,241	△74	1,168

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、たな卸資産等の調整額△74百万円が含まれております。  
2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	9,727	7,913	1,150	1,639	3,868	24,298	—	24,298
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	4,221	51	—	436	16	4,723	△4,723	—
計	13,947	7,964	1,150	2,075	3,885	29,021	△4,723	24,298
セグメント利益 又は損失(△)	871	130	16	△111	474	1,379	△112	1,266

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。  
(1) 売上高の調整額△4,723百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。  
(2) セグメント利益の調整額△112百万円には、たな卸資産等の調整額15百万円が含まれております。  
2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。



(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)
1 株当たり四半期純利益金額	17円00銭	24円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	619	889
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	619	889
普通株式の期中平均株式数 (千株)	36,396	36,396

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年 5 月 14 日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………382百万円

(ロ) 1 株当たりの金額……………10円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成25年 6 月 3 日

(注) 平成25年 3 月 31 日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

三櫻工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 芝田 雅也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 沼田 敦士 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三櫻工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三櫻工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

**【表紙】**

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【会社名】	三櫻工業株式会社
【英訳名】	Sanoh Industrial Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 篠原 利幸
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目23番23号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長篠原利幸は、当社の第106期第1四半期（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。